

# 宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和6年第15週の発生動向

### トピックス

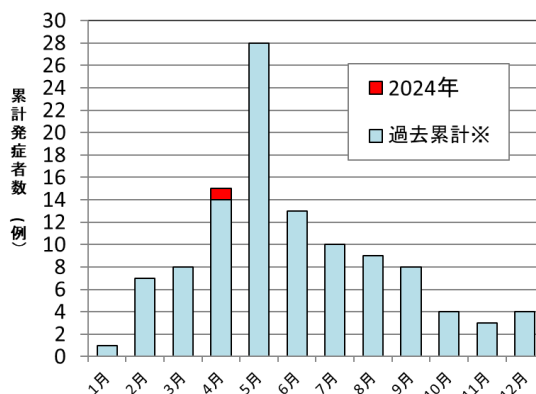
#### 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は70歳代の女性で、ダニの刺し口があった。県内での報告は、累計110例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	5	26	42	27	6

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



※2013年3月から2023年まで

### 全数報告の感染症 (15週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：E型肝炎1例、重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱1例。
- 5類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、梅毒4例、百日咳4例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	女	肺結核	咳、痰、寝汗
		延岡	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		日南	20歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
4類	E型肝炎	宮崎市	40歳代	男	—	肝機能異常
	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、食欲不振、血小板減少、白血球減少、刺し口
	日本紅斑熱	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	宮崎市	80歳代	女	—	発熱、ショック、肺炎、菌血症、膿胸
		梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期
	宮崎市		60歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
	小林		10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
	小林		20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
	百日咳	宮崎市	0~4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、無呼吸発作
0~4歳			女	—	持続する咳、夜間の咳き込み	
高鍋		0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み	

## □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は801人(定点当たり19.8)で、前週比92%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザと新型コロナウイルス感染症であった。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

#### 【新型コロナウイルス感染症】

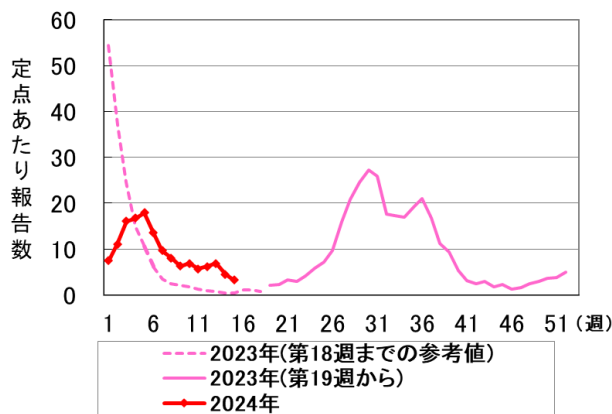
報告数は188人(3.2)で、前週比72%と減少した。延岡(5.4)、高千穂(4.5)・中央(4.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が約3割を占めた。

#### 【インフルエンザ】

報告数は99人(1.7)で、前週比48%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.62)の約2.7倍であった。日南(3.0)、宮崎市(2.4)、都城(2.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が約3割を占めた。

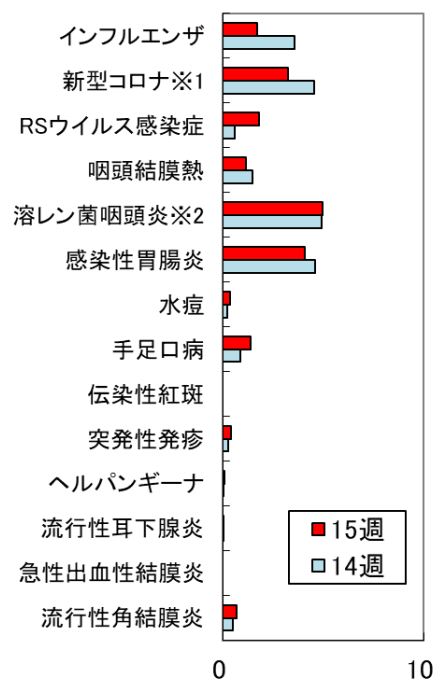
\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

新型コロナウイルス感染症 発生状況



※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

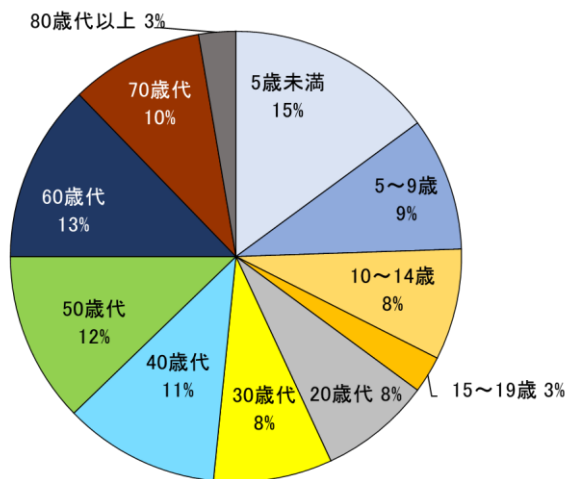
《前週との比較》



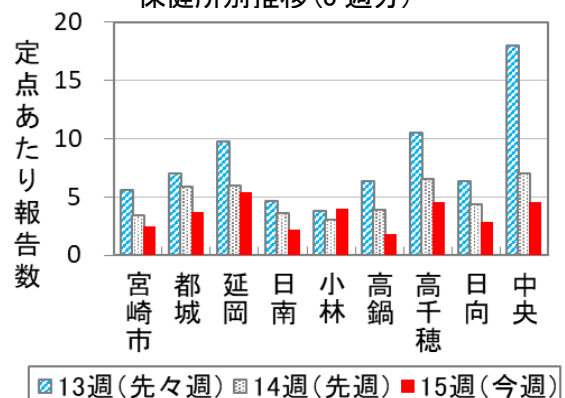
定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症  
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

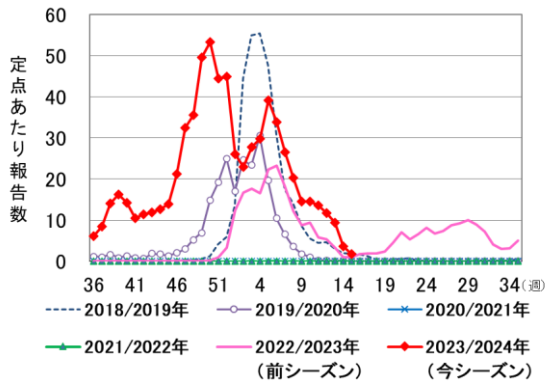
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第15週)



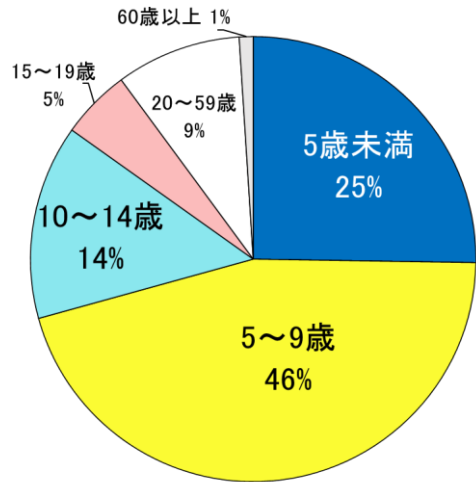
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



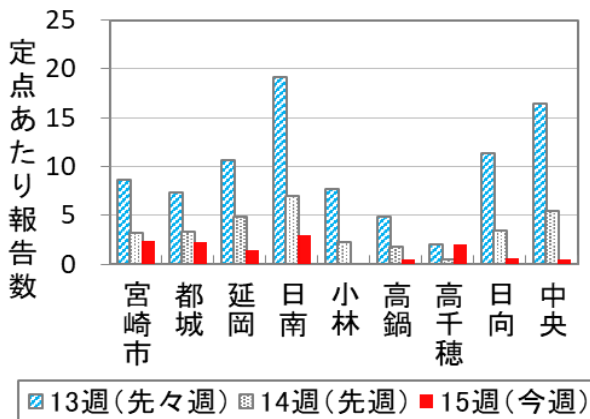
### インフルエンザ 発生状況



### インフルエンザ年齢群別グラフ (第15週)



### インフルエンザ 保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	水痘(1.0)
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

\*流行注意報レベル基準値\*  
・水痘(1)

### □病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和6年4月15日までに検出)

★細菌 報告なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus B(Victoria lineage)	6	男	2024.03.11	インフルエンザB型、38.3℃、咽頭炎、気管支炎	鼻汁	2024.04.04
Influenza virus B(Victoria lineage)	17	女	2024.03.18	インフルエンザB型、38.6℃、咽頭痛、咳、鼻水	鼻咽頭ぬぐい液	2024.04.04
Influenza virus B(Victoria lineage)	7	女	2024.03.18	インフルエンザB型、38.5℃、咽頭炎、気管支炎	鼻汁	2024.04.04

## ✚ 全国 2024 年第 14 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	238 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	21 例	腸チフス	3 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	9 例	A型肝炎	3 例	エムポックス	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	1 例
	マラリア	2 例	レジオネラ症	31 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバベネム耐性腸内細菌感染症	21 例
	急性脳炎	7 例	クリプトスポリジウム症	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	41 例	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	41 例
	水痘(入院例)	5 例	梅毒	172 例	播種性クリプトコックス症	8 例
	百日咳	27 例	麻しん	1 例		

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 71%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

インフルエンザの報告数は 25,106 人(5.1)で前週比 46%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.96)の約 5.3 倍であった。山形県(11.5)、新潟県(10.3)、愛媛県(9.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 20,968 人(4.3)で前週比 84%と減少した。秋田県(10.8)、岩手県(9.0)・宮城県(9.0)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

## 月報告対象疾患の発生動向 <2024年3月>

### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は24人(1.9)で、前月比57%と減少した。また、昨年3月(3.2)の約0.6倍であった。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数11人(0.9)で、前月の約0.4倍、昨年3月の約0.5倍であった。

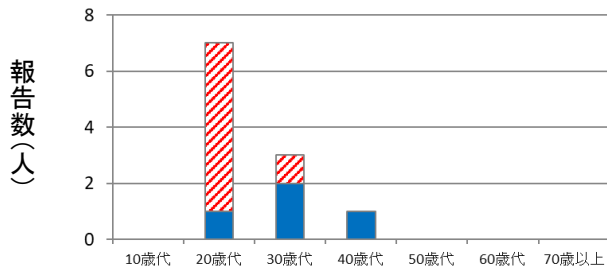
20歳代が全体の約6割を占めた。(男性4人・女性7人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、前月と同率、昨年3月の約0.6倍であった(女性5人)

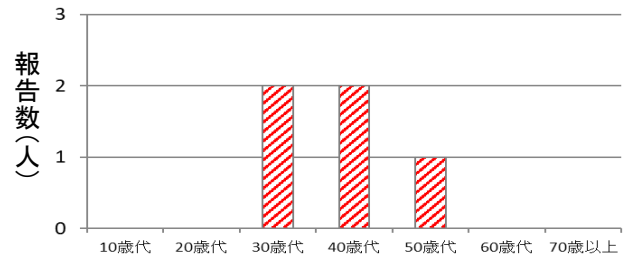
○尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の0.5倍、昨年3月の0.4倍であった。(女性2人)

○淋菌感染症：報告数6人(0.46)で、前月の約0.9倍、昨年3月の1.5倍であった。(男性4人・女性2人)

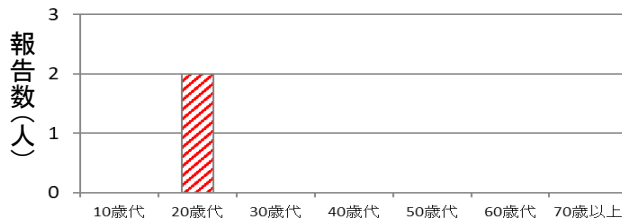
性器クラミジア



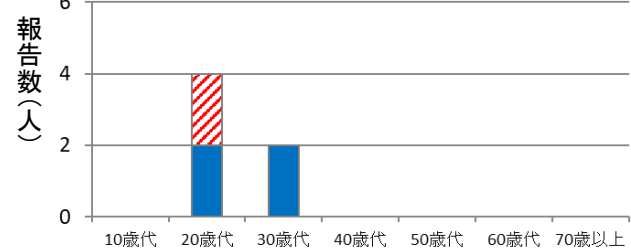
性器ヘルペス



尖圭コンジローマ



淋菌



■男 ■女

【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,512人(4.6)で、前月比104%とほぼ横ばいだった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,466人(2.5)で前月比105%、性器ヘルペスウイルス感染症807人(0.82)で前月比108%、尖圭コンジローマ500人(0.51)で前月比102%、淋菌感染症739人(0.75)で前月比99%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は23人(3.3)で、前月比128%と増加した。また、昨年3月(2.4)の約1.4倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数23人(3.3)で、前月及び昨年3月の約1.4倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,416人(3.0)で、前月比101%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,352人(2.8)で前月比102%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症60人(0.13)で前月比87%、薬剤耐性緑膿菌感染症4人(0.01)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第15週(04月08日～04月14日)

疾病名		第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	206	99	39	23	10	15		3	4	4	1
	定点当り	3.55	1.71	2.44	2.30	1.43	3.00	0.00	0.50	2.00	0.67	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	262	188	40	37	38	11	16	11	9	17	9
	定点当り	4.52	3.24	2.50	3.70	5.43	2.20	4.00	1.83	4.50	2.83	4.50
RSウイルス感染症	報告数	21	64	26	10	1	2	7			13	5
	定点当り	0.58	1.78	2.60	1.67	0.25	0.67	2.33	0.00	0.00	3.25	5.00
咽頭結膜熱	報告数	53	41	28	4	1	2	1	4			1
	定点当り	1.47	1.14	2.80	0.67	0.25	0.67	0.33	1.00	0.00	0.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	177	178	74	33	18	12	6	17	4	11	3
	定点当り	4.92	4.94	7.40	5.50	4.50	4.00	2.00	4.25	4.00	2.75	3.00
感染性胃腸炎	報告数	165	147	50	35	2	24	16	3	3	12	2
	定点当り	4.58	4.08	5.00	5.83	0.50	8.00	5.33	0.75	3.00	3.00	2.00
水痘	報告数	8	13	10		1	2					
	定点当り	0.22	0.36	1.00	0.00	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	31	50	35	11				4			
	定点当り	0.86	1.39	3.50	1.83	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	10	14	5	1	4	1		3			
	定点当り	0.28	0.39	0.50	0.17	1.00	0.33	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	2		2							
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	4	4								
	定点当り	0.50	0.67	1.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～15週 保健所受理分)

2類感染症	結核	23例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例		
4類感染症	E型肝炎	2例(1)	重症熱性血小板減少症候群	1例(1)
	日本紅斑熱	1例(1)	レジオネラ症	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	水痘(入院例)	3例
	百日咳	16例(4)	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例(1)
			梅毒	48例(4)

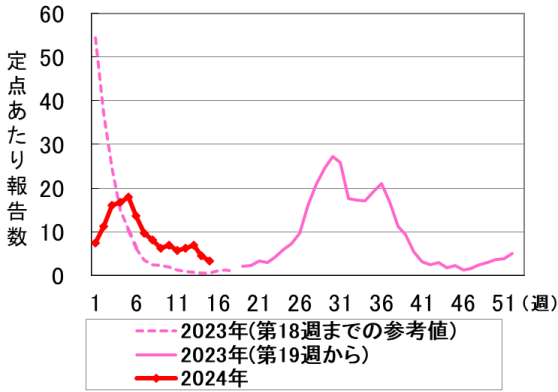
( )内は今週届出分、再掲

# 新型コロナウイルス感染症情報《県内第15週、全国第14週（再掲）》

## □ 県内第15週 新型コロナウイルス感染症発生動向

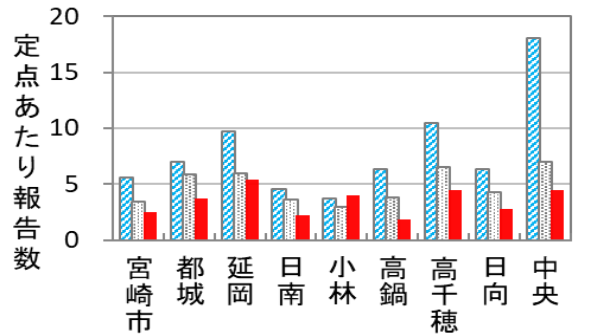
4月8日～4月14日までの1週間で188人(3.2)の報告があった。前週比72%と減少し、延岡(5.4)、高千穂(4.5)、中央(4.5)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況



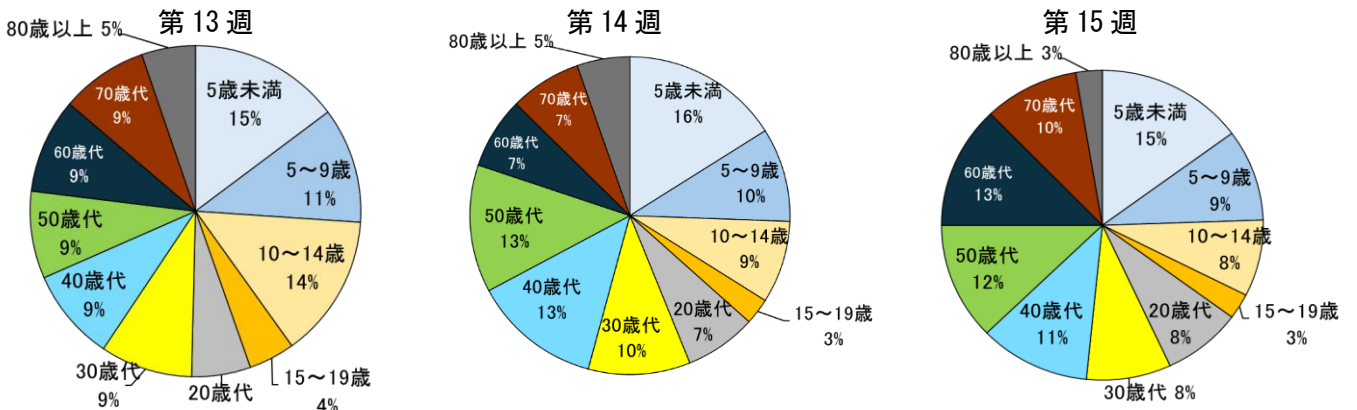
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

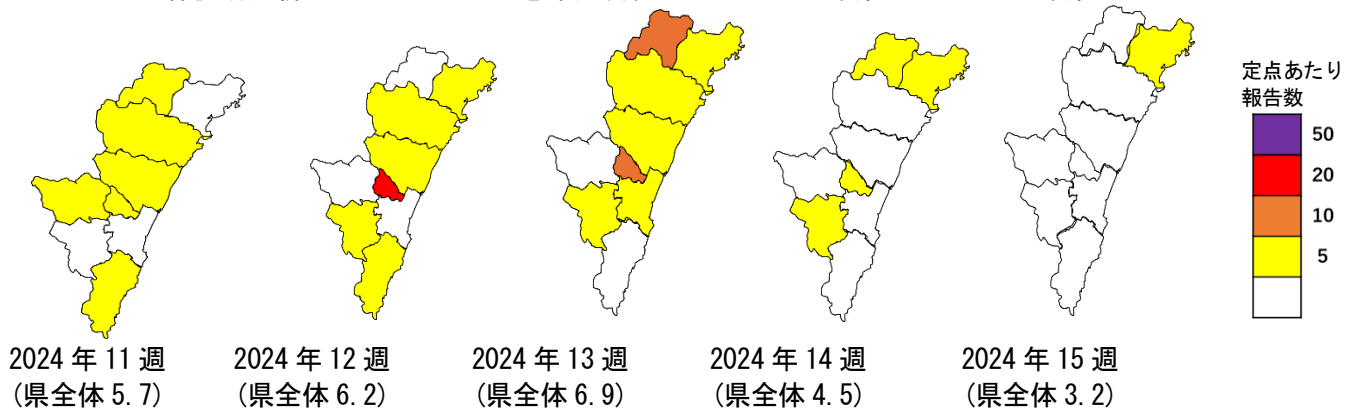


■ 13週(先々週) ■ 14週(先週) ■ 15週(今週)

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第11週～2024年第15週



\* 県独自の基準によるもの

## □ 全国第14週 新型コロナウイルス感染症発生動向

4月1日～4月7日までの1週間で20,968人(4.3)の報告があった。前週比84%と減少し、秋田県(10.8)、宮城県(9.0)、岩手県(9.0)からの報告が多かった。年齢群別では20歳未満が全体の約3割を占めた。